

大学生支援の現状と課題

～保護者の思いから具体的な支援のあり方を探る～

日 時 : 2020 年 12 月 20 日 (日) 13:00～16:00

会 場 : オンライン配信 Zoom ビデオウェビナー (URL は後日連絡いたします)

対 象 : 保護者・支援者など どなたでも

定 員 : 300 人

参加費 : 2,000 円

申込み : <https://alice-2020semina.peatix.com/> (ピーテックスのイベントよりお申し込みください)

お 願 い : alice.okayama@gmail.com からのメールを受信できる設定にしてください。

問 合 せ : メール alice.okayama@gmail.com

※当日都合が悪くなった方は、上記のアドレスか、ピーテックスの「主催へ連絡」からご連絡ください。後日、再配信の URL をお知らせいたします。



≪講師プロフィール≫

・鳥取大学 教育支援
・国際交流推進機構学生支援センター 准教授
・研究分野：乳・小児から青・成年期までの発達障害について研究を行いながら、学生支援に努めておられます。

・鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座 教授
・研究分野：応用行動分析学、発達障害臨床心理学、自閉症のある人・家族・学校への支援をされています。

・おかやま発達障害者支援センター所長
・臨床分野：社会福祉法人旭川荘に就職後、その多くを知的障害・発達障害の方々の支援にあたられ、特に自閉症支援 (TEACCH) をベースとした強度行動障害の支援技法について研究し実践されてきました。



◎井上 菜穂 氏



◎井上 雅彦 氏



◎新谷 義和 氏

発達障害は、外見上から障害として理解するのが困難です。そのため、本人の困り具合に周囲の人が気づかないこと、本人の身勝手ともとれる行動が、周囲の人を巻き込んで、より一層問題を大きくすることなどが、生じやすいと思われます。このような課題は、大学等の高等教育機関においても生じています。学業・人間関係・就職活動など、発達障害のある学生が困りやすいことは多々あります。

第一部は、本人やその家族の支援、学校、医療など周辺機関との連携について研究し、学生支援センターで、大人になる大学生たちと向き合い、相談に来た学生のカウンセリング等にあたる一方、学生個々がかかえる問題に照らして、学部の先生方など他部署や、ときには保護者と調整のうえ学生支援に取り組まれ、多くの支援実績を積み上げてこられた井上菜穂先生に、学生支援の現状と課題をテーマに、ご講演をいただきます。

第二部は、発達障害のある大学生の保護者の方にご登壇いただき、大学進路や受験時での問題、学業や学生生活の問題や不安について話題提供をいただき、具体的な学生支援のあり方について探っていきたいと思います。

内 容

1部 基調講演 13:00～14:00 「学生支援の現状と課題」（仮題）

講演者 井上菜穂氏 鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構学生支援センター 准教授

2部 パネルディスカッション 14:10～16:00

「保護者の思いから具体的な支援のあり方を探る」

話題提供者：発達障害のある大学生の保護者 2名

コーディネーター：鳥取大学大学院医学系研究科臨床心理学講座 教授 井上雅彦氏

コメンテーター：鳥取大学 教育支援・国際交流推進機構学生支援センター 准教授 井上菜穂氏

コメンテーター：おかやま発達障害者支援センター 所長 新谷義和氏

主催 岡山県高機能広汎性発達障害児・者の親の会（アリスの会）

後援 岡山県、岡山市、岡山市教育委員会、おかやま発達障害者支援センター、NPO 法人岡山県自閉症協会